

[00:35 - 01:04] 清川: はい、それではそろそろ時間になりましたので、令和7年度の奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）の同窓会、総会を開始したいと思います。私、会長を務めさせていただきます。清川と申します。よろしくお願ひいたします。まず、資料の方をご確認ください。最初に表紙がありまして、資料の1から7まで揃っているでしょうか、ご確認ください。

[01:14 - 01:36] 清川: 今、理事会に続けて総会に移行したんですけれども、総会から来ていただいている方はどれぐらいらっしゃるでしょうかね。ぜひ、そういう方のご意見を聞きたいですし、時間があるようであればちょっと一言いただきたいと思ったんですが。

[01:37 - 02:03] 清川: いらっしゃらないですか。理事会に参加されておらずに総会に今いらっしゃる方っていらっしゃいますか。いらっしゃらないですかね。またちょっと途中で参加される方がいらっしゃってもおかしくないのもまたちょっと声をかけてみたいと思います

[02:04 - 02:32] 清川: それでは議題に沿って進めてまいります。まず会長挨拶ということなんですけれども私清川は2期生でして1994年入学96年修士1998年少しだけ短期でドクターという課程でしたしばらく他のところにいまして2017年

[02:32 - 02:55] 清川: に戻ってきました、研究室を持たせていただいて、今に至っている。こちらの同窓会に関しましては、2018年度から会長させていただきます、少し長くなってきているという状況です。理事の先生方、副会長の先生方に助けていただいて、なんとか持っているという形です。

[02:55 - 03:23] 清川: はい、ということですね、いろんなもう少しさらに活発にしていく施策とかですね、いろいろ聞いていますので、そうなったら少し時間が割けるような形で進行できればと思います。まず、議題の2番なんですが、議事要旨、前回の総会の議事要旨がありますので、何かお気づきの点がありましたら、総会終了までにお知らせください。

[03:23 - 03:42] 清川: ということで、その次、審議事項に進んでまいります。審議事項に関しまして、まず、決算の状況が資料2にありますので、こちら会計担当の小林副会長の方からご報告いただけますでしょうか。

[03:43 - 04:10] 小林: 副会長の小林です。バイオサイエンス研究科1994年入学で一期生なんですけど、清川先生が会長になったタイミングで副会長を務めさせていただくことになって、もう9年ぐらいですかね、やっていますが一応会計担当させていただいています。よろしくお願ひします。繰り返しになりますので資料全部は読まないんですけど、ほぼ例年通りで収入の分としては基本的には会員からの

[04:10 - 04:15] 小林: 会費で少しですけど利息があります。

[04:15 - 04:43] 小林: それであと前年度からの繰り越しにですね、今金額的に3431万円ですか、ちょっと多くなっているところは前から課題かなとは思っているんですけれども、将来的に物価も高くなっていくし、どこかで赤になるっていうことも困るので少しぐらいは多めにあっていいかなとは思っています。はい、すいません。それで下の方に行ってください、あ

りがとうございます。

[04:44 - 05:11] 小林: これも書いてあるとおりで会員システムのパスワード、今のところ1月当たり33000円でこれぐらい払っています。あとそうですね、学位記ホルダーを5年ぐらい前からですかね、奈良先端科学技術大学院大学の同窓会っていう名前を入れていただいて修了生全員にお配りするっていうことで多少は同窓会の存在をアピールできるかなということで、これは提供することにしています。

[05:11 - 05:30] 小林: あとその下にいくつかホームカミングデーや、研究室あるいは修了生の集会、10名以上集まった場合という決まりがあるんですけど、それに沿って昨年度は4、5件ありまして、それに関する支出があります。

[05:32 - 05:57] 小林: 下の方に行ってもらってそうですね、あとは手数料その他で監査の方も監査の先生方にさせていただいたので、これであっていると思います。はい、よろしく願います。

[06:00 - 06:32] 清川: はい報告ありがとうございます。資料に関しまして何か追加でコメントとかあるでしょうか。ありがとうございます。こちらの報告になりますので、承認されているというものの報告になります。その次の資料3の方でこの会計をきちんと監査しましたという結果報告書がありますので、こちらもご覧ください。それでは、その続きまして、その次の活動計画

[06:33 - 06:39] 清川: に関しまして、資料4の方を用いて、清川の方から説明させていただきます。

[06:39 - 07:09] 清川: 資料4の方にですね、審議事項とか、活動計画に関して予算案を中心に書かれていますけれども、毎年この時期、総会のところで予算案を出させていただいてます。考え方としましては、今から考える予算案を、令和8年度の予算になるんですが、その新年度の予算、令和8年度の予算案は、その前々年度、この場合ですと、令和6年度の実際の収入の実績、

[07:09 - 07:32] 清川: 以上には支出しないという計画で立てています。ということで、絶対に目減りしないという形で活動しようとしています。これが基本的な考え方になってまして、収入の方は先ほど報告がありましたとおり、令和6年度につきましては、592万円の新規の収入があったということです。これをですね、支出の方の説明をさせていただきますが、

[07:33 - 07:56] 清川: 会員管理システム、ウェブシステムのパスワードの方の利用料がありますと、それから南都銀行オンラインバンキング、この辺りは定常的な支出になります。事務員雇用に関して、同窓会独自に雇用していないという話があって燻っているんですが、ちょっと進んでません。で、申し訳ないんですが、今のところゼロという形で計上しています。

[07:56 - 08:17] 清川: その次の学位記ホルダーは、修士課程の学位記を綺麗に入れて、お渡しするケースがあるのですが、そちらの方を同窓会が寄贈する形に数年前からなってまして、600個、73万円を計上しています。

[08:17 - 08:29] 清川: その次の同窓会主催イベントに関しまして、NAISTのオープンキャンパスに合わせて開催するホームカミングデーでの飲食費。

[08:30 - 08:56] 清川: それから、同窓会が主催するイベントの講師招へい費であったり、謝金だったり計上しています。ホームカミングデーに関しては、もう少し少額の場合が多いのですが、これ実際に毎年発生しているお金です。イベント講師招へい費・謝金は毎年積んでいるのですが、同窓会主催のイベントができていなくて、ここに関しては計上しているのですが、実際に支出は過去数年できていないという形になっています。

[08:56 - 09:08] 清川: その次の同窓会開催の支援費10万円の件数が7件と5万円ぐらいの開催支援が10件ぐらいということで合計120万円。

[09:08 - 09:37] 清川: これらの方は、同窓会の集会、研究室レベルであっても、学年単位であっても、あるいは領域単位であっても、さまざまな集会に対して、1人2000円、最大50人まで支援しますよ、ということをしてまして、申請があれば支援しているのですが、実際の申請をしていただける件数が減ってきているのですけれども、もう少し活発にしたいということで、これぐらいの件数を計上しています。

[09:38 - 10:00] 清川: その次の国別同窓会設立支援費というのがありますが、これ新しい話になります。数年前からNAISTの同窓会、我々本体の方の同窓会がちょっと沈退している頃から、インドネシアの方では非常に活発な同窓会支部が独自に活動していました。

[10:00 - 10:10] 清川: 一昨年、タイの方で、同窓会が発足しまして、今年、先日、マレーシアの同窓会支部が発足したところです。

[10:10 - 10:36] 清川: 本日、大学の執行部の方との話し合いがこの後ありますけれども、意見交換会がありますけれども、そこで説明がきつとあると思うんですが、大学内部としても、特に東南アジア等との連携を強めたいという思惑があるということと、同窓会としても、海外の支援をしっかりとしていきたいということがあるということで、

[10:36 - 10:58] 清川: 具体的に来年はフィリピンとかですね、その次はどこでしたっけ?5か国、6か国ぐらいをピックアップしてサポートしていこうという計画がちょっと立っているということです。そういう背景をもとにしまして、来年、今年ですね、マレーシアに関しまして、

[10:58 - 11:28] 清川: 同窓会が立ち上がるにあたって、同窓会を立ち上げるには、様々な口座を開設したり、いろんな事務費が発生したりということで、運転資金がいるということで、我々の方にサポートをしてほしいという依頼がありました。で、理事会の中で議論した結果、やはり多少運転資金がないと設立するのは難しいというのは確かにそうでしょうねという議論がありまして、

[11:28 - 11:52] 清川: 国別にマスターとドクターの修了者の延べ数、例えば100人いれば100という数に対して、一人当たり1000円、今の場合100人だったら10万円という形で支援してはどうかという議論があって、理事会の中で承認されました。総会の中で会員の皆さんにはまだお伝えしてないお話なんですけど、

[11:52 - 12:01] 清川: マレーシアに関しては、実際にお試しでやらせていただくということで、先行してやらせていただくことになりました。

[12:01 - 12:23] 清川: この話を来年も同じような形で、国別に同窓会の支部が立ち上がるという話があった場合には、先方から要請があれば、修了者ののべ数かける 1000 円の支援をさせていただけないかということを考えているということで、来年に関してはフィリピンが実際に動き出しそうという話になっていますので、

[12:23 - 12:44] 清川: 今年、70 数名の修了者がいらっしゃるのので、そこも上乘せした上で 8 万円のサポートを計上しているということです。こちらに関しては、またオンラインの審議を経て、会員の皆様の承認を経てから動き出したいと思っていますので、そこで否決された場合には、消える項目になります。

[12:45 - 13:04] 清川: その次の海外支部活動支援費、INAA と書いてありますが、INAA の方は先ほど活発に活動しているという報告をした、インドネシアの方の NAIST の同窓会組織になります。こちらの方はすでに我々が

[13:05 - 13:33] 清川: 運用しているルールに基づきまして 3 年以上活発に活動していると継続的に活動しているとそれプラスですね総会のようなものが毎年開催されてその参加者数に合わせてさらにプラス 1 万円もしくは 2 万円上積みして好きな活動に使ってくださいと何に使ってもいいですよってお金で最大 5 万円をお渡しするというルールが既にあります

[13:33 - 13:50] 清川: インドネシアはこれに該当しまして 5 万円を来年度も計上させていただくと同様なサポートにタイの方も該当する可能性があるということでこちらも計上させていただいているということになります

[13:51 - 14:10] 清川: その次の新入生歓迎会開催支援費は、4 月に立食の歓迎会をしようということを考えています。毎年、企画してなかなか実現できていないものですが、14 万円ぐらい計上していますということです。

[14:10 - 14:38] 清川: その次の役員情報交換用 SNS ライセンス費は、我々の情報交換をさらに活発にするのに何ができるかという中で、ちらっとお聞きした意見に合わせて、ウェブでもう少し情報交換を気楽に密にできるようなものを、そういうツールを使うべきだと、そこに少しお金がいるんじゃないかということで仮に計上させていただいています。

[14:38 - 15:06] 清川: オンライン会議ライセンスに関しては今まさにやっているようにZoomのライセンス費がスポットで必要になっていきますので計上しています。その他振り込み手数料であるとかがありましてここまでのトータルでざっと収入の半分ぐらいになってまして残りの額は予備費として積み立てという形になってまして収入に対してはまだまだ余裕がある状況ですけれどもこれが来年度の予算です。はい。こちらに関しましてご意見ご質問等ありましたらぜひお願いいたします。

[15:06 - 15:25] 小林: ちょっと先ほどの清川先生の説明に補足ですけど、国別同窓会が立ち上がる時の支援というのは

[15:25 - 15:53] 小林: 100名かける1000円で10万円ということを一応上限にしているので、そんなことない（この先起こらない）ですけど、120人以上いても10万円を上限にしましょうということで決まっています、ということをお伝えしておきます。

[15:53 - 16:21] 清川: はいありがとうございます。実はですねちょっと審議事項を先にしようとしてつけていて実際の報告事項の方というのが後の方にしようとしてついてるんですが2枚めくっていただいて資料6ですね。ここが活動報告の資料になるんですがこの1枚ものの資料の一番下のところの四角のところに国別同窓会設立支援カック新設というところがありまして今の小林副会長の方から説明がありましたとおり、ただし上限は10万円という形にさせていただいています。ありがとうございます。他、いかがでしょうか？

[16:29 - 16:56] 清川: そうでしたら、この予算も踏まえてですね、いろんなもう少しこうした方がいいんじゃないかっていう意見がたくさんあると思いますので、特に比較的新しい理事の先生方とかですね、この古いやつらがこういうところでやってるけど、全然スマート、ガラッと変えたらいいんじゃないかっていう意見をいろいろお持ちだと思っているので、思っていていただきたいです、ぜひ絞り出してでも何か意見をいただきたいと思ってるんですけども、

[16:57 - 17:14] 清川: それに先立ちまして、審議事項の2番、3番の方で、これまでどんな施策を考えようとしてきたか、実際にどこまでできているのかというお話をサラッとさせていただいてから意見を伺いたいと思います。

[17:14 - 17:43] 清川: 2番、会員増強施策、修了生入会勧誘。こちらに関しては、各研究室が名簿を持ち、同窓会は過去のものの名簿を全部持っていないという事情があって、研究室経由でたくさんの掘り起こしをして入会していただく作戦を、ちょっとやってるんですが、一時期少しやってたんですけども、停滞してるというお話です。

[17:43 - 18:11] 清川: 3番の方にたくさん項目があるんですが、新規というところに3つ、参考というところにいくつか9個ほどありますけれども、参考という方が昨年度から引き続き掲載している話でして、一番下からいきますと、会員システム導入運用とかですね、ホームページを新しくしましたとかいう話があって、ニュースレターの発行等々はですね、どんなことやってほしいですかって会員の方に聞いた時に、必ず上がってくるお話なんですが、できてないと未達成で書いています。

[18:12 - 18:29] 清川: 専任事務員雇用も、少し上手く言った時期もあったんですが、今のところで停滞していますということですね。清川が一番気にしていますのは、役員の安定的継承をいかにするかということで、もうやんびって僕がやめたらどうするのかっていうような

[18:29 - 18:50] 清川: 話があるのですが、次の理事の方、副会長・会長の方をどう安定的に募るのか、立候補をしていただくのかという形を考えたいということですね。それから一番新規のところは、具体的にいただいたお話、今回新たに意見としていただいた話を書いてまして、

[18:50 - 19:18] 清川: この辺り、具体的には、高橋理事と上岡理事の方からお話をいただいたと記憶していますので、よろしかったら直接今、高橋理事の方からお話いただけたりしますか。

高橋: 新しい取組に行ってますかね。はいはいはい。もうここからフリーにあと 30 分弱しかないの。共有したらいいんですかね。説明させてもらってもいいんですかね。

清川: お願いします。

[19:20 - 19:45] 高橋: ちょっと皆さんのお手元にあるか分かっていないんですけども ちょっと共有させていただくと 今画面見えていますかね見えました見えます 総会理事議題案ってあるの 見えていますかねはい 見えています思ってるのは 定例会の開催と あと

[19:45 - 20:14] 高橋: 今は言わずと、清川先生の口座になってるとお伺いしてたので、任意団体の口座の作成とか、そのために組織が必要であるとか、あと送金システムとかそういうのをちょっと検討してました。あと、情報インフラ、先ほど先生がおっしゃっていたんですか、前半で言っていた slack の話です。そこでは、定例会は 4 回ぐらいウェブでできないですかね、というところはちょっと

[20:15 - 20:39] 高橋: 思っております 運営の進捗とか情報共有、問題点や改善点、必要に応じて任意参加で、先ほどのインドネシアに送金とか そういう話があるんだったらちょっと臨時で開いてどうするかみたいなことが皆さんと議論して その結果どうでしたっていうのが共有できる仕組みがあればいいかなとは思っています。次、任意団体の口座なんですけど これは

[20:40 - 21:07] 高橋: いろいろ確認するとみずほ銀行が任意団体の口座、作ってくれるみたいなんですよね僕も電話して直接問い合わせました 同窓会みたいなことができますかって聞いたらちゃんと審査とられてわかんないです もちろん書類とかを受け取ってもらって審査してもらえるみたいなので これはぜひ作ってみてはどうかと思います これを作る際に任意団体の

[21:07 - 21:36] 高橋: 代表もしくは 団体の印鑑が必要ということがありましたので この際も実印、銀行印、角印のこの 3 つのハンコを作ってみるのはどうかなっていうのは 私の提案ですあとは 海外の送金システムなんですけどもいろいろ 4 パターンぐらい調べていました一番は 仮に銀行 例えば 2 万円をマレーシアから 2 万円送金すれば 逆もありですけど

[21:37 - 22:05] 高橋: 銀行で直接出たらやっぱ 8000 円ぐらいかかるんですよこれがストライプとかペーパーとかワイズとかいろいろあるんですけどもワイズが一番安いんですけどもちょっとこれ数にまだどれがいいとか任意団体の口座はペーパーとかちょっと作ってくれなさそうだったんでちょっとどれがいいかっていうのはまだちょっと決まってるはないんですけどもこの件はちょっともうちょっと私の方で調べさせていただいて他の定例会か臨時の定例会で

[22:06 - 22:32] 高橋: こういうのどうですかっていうのは ちょっと決めさせていただきたいなというところがあります。あと 先ほどの slack のお話ですけど それはぜひ作っていただきたいなと思いますあとはちょっとどうでもいいんですけど 同窓会の名前 いろいろ考えたら 奈良先端で 3 つの山の関係なんで三山会とかいんじゃないかなとか ちょっと組織してもうちょっと

[22:33 - 23:03] 高橋: 会則のもう一段下の運用規則みたいな どうしてあればいいかなとかあと他大学の同窓会どうやってるのかなとか ちょっとヒアリングしたいなとこの間 東京大学東京科学大でクラマイ工業会との指令が出たんでヒアリングしたい どういうことをやってるか教えて

もらったんでそういったこととかも皆さんと共有したいなと 共有してそれ取り込めることがあったらしたいみたいなのとかあとは 先ほど記憶を忘れてました 引き継ぎの体制ですかねそういったことも作ってあげればいかなと 思っています。だいたいちょっと考えてたことが以上です。

[23:13 - 23:16] 上岡: お金のことが非常に多分まず重要だと思うんですけど、口座の件いかがですかね。

[23:22 - 23:42] 清川: はい、ありがとうございます。どれも結構いろいろ提案いただいて、ずっと詰まっていた話がスッパリ変えていけそうな案もあったので、非常に嬉しいなと思っているんですけども、お金の話からポータルの話からしますか?なんで定例会をすぐ行けますか?どうしましょう?定例会の話で言えば、

[23:42 - 24:02] 清川: ウェブベースも含めて年4回ってというのは全然実現できる範囲だと思いますし、ちょっとそれぐらいは最低やらないといけないだろうなと思う。以前はもう少しずつは密にやってたり、少なくとも5月には理事会やって、11月には総会やってっていう2回は物理的に集まったりとかしてたんですよ。それがちょっと停滞しちゃってるので、

[24:02 - 24:32] 清川: ウェブだったら集まりやすいということもありますし、参加できる方だけ、また多数決にとって一番多くの方が集まるほうで、その数票を選んで、それでもこれの方は仕方がないじゃないかって、少なくともやることは絶対やろうっていうやり方でやれば十分できるんじゃないかって思いますね。4回っていうのも妥当だと思って、毎月だと多すぎますし、2回だと、ちょっとまた半年後、半年間でしましたねって言うのと進まないの、

[24:33 - 24:59] 清川: 年4回もだと多くありません。年4回ウェブ会議でzoomとか言うの全然ありかと思うんですが、いかがですかね、しんどいですか。少なくとも、理事会レベルでは、これで総会で決める話はないような気がしますね。理事会の中で決めればいいので、年4回ウェブ会議やりましょうっていうのは、もうこのままでOKできそうな気はします。いや、嫌だっちはいらっしやるのでしょうか。この空気を作ってから手に挙げるのが難しいかもしれないですが

[25:01 - 25:27] 小林: どちらかと言えば僕は嫌ですけど、せっかく新しい人が来てやろうって言ってくれてるんで、是非やってみましょうっていうことでやってみたらいいけど、続けるのは難しいかなと思うんです。でも否定するつもりもないんで3ヶ月後ぐらいにとりあえずやるっていうので一回目あったらどうですかね?4回を目指してやり始めるっていうのがいいと思います。

[25:29 - 25:42] 清川: ちなみに、4回のうちの1回は、この総会という感じですかね。3回は、ウェブで開催という形ですかね。それが、はい、ミニマム。

[25:42 - 26:04] 吉本: 吉本です。自分はどちらかというとなポジティブな方なんですけども、4回でも頻度はいいかなと思うんですけど、日程というか、例えば何月の第1週土曜日とかそこを基本固めていただけるとありがたいです。

[26:04 - 26:31] 吉本: ついつい他の仕事で忘れてしまうってずるずる行ってしまうっていうのがあるんで、もし定期的開催するんだったら、何月の第何土曜日とか日曜日とかっていうふう決めてほしいのと、その直前に後で話題に上がる Slack とかで議題をあげてもらって、議題がなければ今回は不開催っていうのもありなのかなと思います

[26:34 - 26:50] 清川: はい、そういうことでぜひ。はい、ぜひ開催しましょう。それこそ例えば総会が実際そうなので、土曜日の午前で総会をベースに3か月ずらしてやるとかも、決めてしまってもあるかもしれませんね。

[26:51 - 27:13] 清川: はい、じゃあそれに関しても、細かいところはまだ議論する余地があるかもしれませんがやることで、ぜひ応援したいとかやりましょう。口座に関しては、そうなんですよ、団体口座が作れないという話がずっと困ってたんですが、任意団体のやつも作れると、そこがあるのであればやりたいですね。なんか実印がいるんですね。

[27:13 - 27:31] 高橋: 代表者様の印鑑でもいいんですけど、実印というか、シャチハタがダメっていうことなんですよ。それで印鑑作るんだったら、もうセットで作るのはどうですかっていうところですね。

[27:33 - 28:01] 高橋: はい、ありがとうございます。これも細かい課題があるかもしれませんが、ぜひこれやりたいですね。これって言って、結構なったら、清川先生が奈良支店かどっかに直接行ってもらわないといけないんです。そこは可能ですかね。動ける日でやりましょう。僕、家の隣にみずほがあるんですけども、いけるんですけども、僕が作るのも、僕の行ってるこの支店で作られたものってどういうことっていうふうになると思うので、奈良支店とかにあった方が、信用性があるような気がするんですよ。

[28:01 - 28:29] 清川: 最初は仕方ないですよ。できるだけ人に紐つかない形にしたいなと思いつつ、今二段階認証で全ての認証を僕の携帯に飛んでくるので、どうしてもそれは仕方ないかなと思います。

[28:30 - 28:58] 高橋: はい。じゃあ、口座に関しても進めると。3つ目なんでしたっけ? まあ、同窓会の送金の話なんですけど。はい。海外送金ね。はい。ちょっと調べてたんですけど、まずちょっと、任意団体の口座できてからの方が一つはいいかなっていうのと順番的に、もう一つはちょっと、ちょっと決めきれないところがあって、ペーパルとか、法人の中、任意団体の口座を作れないとか、じゃあ、ワイズを作れるのかとか、

[28:59 - 29:21] 高橋: ちょっと調べきれないところがあるので今日はこういうことをご紹介させてもらってもう少し引き続き調べてこれでどうですかっていうことをまた定例会か臨時会でお話しさせていただければと思いますはいわかりましたはい口座できるんだればありがたいですね それから

[29:21 - 29:51] 清川: 最後 slack でしたっけ? そうです。slack です。slack を申請しちゃえばできちゃうと思いますね。ただ、人数は実際にログイン数とか見て変動しちゃうので、実数としては多分10人とか15人とかの間ぐらいだと思うので、だからさっき積んでみたいに3万ぐら

いですよね。全然大丈夫だと思うんで。ただ、無料のディスコードから比べて、slackの方がいいですか?どうですか?っていうあたりはどうでしょう?そう、slack のありがたいというところなんですけどね。

[29:57 - 30:24] 小林: 新しく来た方、ご存知ないかもしれないですけど、昔、slack をやってて、今でも僕は吉本理事と slack でやりとりとかしてるんで、それをもう一回復活するっていう形で、slack がいいんじゃないかと思います。

[30:25 - 30:50] 清川: あれを有料ライセンスにすると、数年前、こんなメッセージ書いたなみたいなのがバれて出てくるんですよ。当時は元気にやってたなみたいなそれを復活させる形にしましょうかわかりましたいろんなご意見いただいて非常に嬉しいです他の人たちもどんどんアイデアを出していただければ今ちょっと just idea というか今思いついたら必要だと思ったらクラウド上で共有のフォルダーみたいなデータベースがありますか

[30:52 - 31:22] 高橋: いま、ないんですよ。今、こういうことを議論しましたっていう議事録を入れたりとか、各その内容で調べたことこうでしたっていうのを入れておくところです。はい、はい。Google Workspace みたいなものを直接使っちゃうのもありかもしれないですけどね。Gドライブでもなんでもいいので、リンクもらって理事の方が、そこはアクセスできて編集できるみたいな、そういうのがあれば助かりますね。

[31:22 - 31:52] 清川: そうですね 実は Google のリポジトリに いろんな結構大切なフォームを含めて使っておいてるんですけど最近 ここを見てくださるような形でやってないかもしれないですね使ってますよね 僕 PalSyne 関係とか実は使っていてそこをオフィシャルな形にして 多分 slack 使うと紐付けないとそのように細かい話になるんで でもやりたいと思います

[31:54 - 32:16] 清川: ありがとうございます。はい。なんか、こんだけ資料も用意して、色々ただけると、非常に嬉しいです。なんか、すべて任せたくなるんですけど。あと、最後、細かいですけど、定例会、僕は、夜の方が助かります、正直。20時ぐらいから始まる方が助かります。

[32:18 - 32:44] 清川: はい、そうしたらですね、その辺を進めるだけでもだいぶ変わってくると思うんですが、ありがとうございます、本当に嬉しい。で、また十数分あるんですが、どうしましょうかね。じゃあ、なんだろう、そういうことの、今までの議論関係、単なる承認でもいいですし、反対意見でも追加の案でもいいですし、まだ発言されていない方もいらっしゃると思うので、

[32:44 - 33:24] 清川: この場にいらっしゃる方々、オブザーバーの方も含めてちょっとご意見いただければ、ありがたいかなと思うんです。昨年、キャリア支援のほうのイベントの方々です。キャリア支援の方、ここから来ていただいている方々。誰ですか?ぜひご意見、次回以外の方のご意見を優先します。

[33:25 - 33:40] 吉田: すみません。私は初めてちょっと今日来させていただいて、同窓会というのがあるというのを認知しています。入学の時には説明はあったと思うので、ちょっと忘れて

います。

[33:42 - 34:06] 吉田: 入学の時には説明いただいていたと思うんですが、初めてちょっと来させていただきまして、こういうのもあるというのを初めて聞いて、全てがちょっと初めてです。私、社会人で博士課程の社会人ドクターやっぴりして卒業して、2年ぐらい前ですね、来させていただきました。

[34:07 - 34:36] 吉田: 同窓会っていろいろ運営あると思うんですけども私も初めて今日見たので中の意見っておこがましいんですけどもやっぱり活発に社会出てからだ結構いろいろ皆さんが社会に入れてからの情報っていうのはやっぱりあって同じ例えば業種の方違う業種の方かの意見っていうのを聞くチャンスがやっぱりあるし交流があると非常に新しい発見もあるかなと思いますので

[34:37 - 34:40] 吉田: これからも応援させていただきますので

[34:40 - 34:55] 清川: これを機に、はい、ぜひもう少し深く関わっていただきたいかなと思います本当にありがとうございますはいこれあとたまたま来たら喋らされて大変でしょうが

[34:55 - 36:11] 菅沼: 菅沼と申します。私も初めて伺わせてもらいました。自分は卒業して企業には勤めず高校の教員をやっている高校と大学とやっぱり同窓会っていうのはなかなか違うものかなと思ってお話を聞かせてもらっておりました。こういった会ができていうのは修了者としては非常に嬉しいなというところがあるのとあと1個高校はそうなんですけれどもやっぱり同窓会っていうのは自分の卒業した学校の生徒を応援するといった形で。例えば、部活動で大きな大会に出たらその支援をするとか、そんな形であるんですけども、今回の見た時に支出の部のところで、例えば今いる学生さんの支援があんまりいないのかなという、純粋に、それがいい悪いとかではなくて、あと見たときに、なかなか大学とまた高校と違うところがあるのかなという感じで見させてもらっております。おそらくここに来るまでかなりの議論を重ねていただいて、だいぶ苦労されていると思うので、過程を経ずにお話しさせてもらっているので、ちょっと大変失礼なところで申し訳ないんですけども、今パッとお話し聞かせてもらったところの感想なのかな、感想を述べさせてもらいました。ただ本当に仕事大変な中、こういった会を継続していただいているということは本当にありがたいことかなと思っております。また今後ともよろしく申し上げます。

[36:34 - 37:03] 清川: ありがとうございます。毎年議論に関しては、学生に対する支援に関しては、毎年議論があるところで、やっぱり修了生組織なので、修了生の中で活動を活発化するか、NAISTとコネクションを作るかというのを、すごい大事にしている。ただでも、現役生に対して、ご利益を感じていただかないと、その後、同窓会に入っていただく率も減るかもしれないし、結局、心のよりどころとじていただけないので、

[37:03 - 37:25] 清川: そのところは意識はしています。具体的には新入生歓迎会とか、学位記ホルダーをお渡しするのも、少なくとも同窓会がサポートして応援してますよということをお伝えする目的もあるので、キャリア支援に関しても、OBの方をお呼びして、現役生の方とつ

なぐというイベントをやっているのです、その辺りもサポートはしています。

[37:26 - 37:49] 清川: おっしゃる通りで、ま、ニューズレターとかですね、こんなことやっているのか、社会でいっぱい活躍しているなとかいうのもお知らせするような仕組みとかも作っていきたくて思ってるんです。なかなかできていないところがあるので、また厳しいご意見をいただければありがたいと思います。ということで残り 10 分弱か、だいぶ時間を押してきましたけれども、報告事項を読んでないんですが読んでおいてください。

[37:49 - 38:10] 清川: いつもここに時間使ってるんですが読めばわかるので

[38:10 - 38:14] 小林: あ、清川先生 オンラインでも参加されてる方がおられるので、もし良ければちょっと…

[38:14 - 38:19] 清川: すみません 気づかずにありがとうございますオンラインの方で来ていただいている方で上から私の zoom ではジンラ様ですか 何て読むんですかね。はい、ご発言いただけたらありがたいのですが。

[38:19 - 38:44] 人羅: 「ひとら」と申します。2000 年バイオ修了でございます。私、今日途中から参加になってしまったんですが、貴重な場に参加させていただいてありがとうございます。

[38:44 - 39:08] 人羅: 私自身は奈良先端大の修了生で起業しております つい最近、奈良先端関係の起業家のコミュニティをちょっと作りたと思いまして Facebook のグループメッセージ作ってですね

[39:08 - 39:35] 人羅: 飲み会とかやり始めているところでございますので今回たまたまそういう中でこの場を知りまして、とりあえず手ぶらで参加しました。今後またこういった活動をいろいろつなげられたらいいなと思っている次第でございます。よろしく願いいたします。

[39:35 - 40:04] 清川: 是非よろしく願います。本当にありがとうございます。それからあとは春本監事がいらっしゃいますが他の一般会員の方はいらっしゃいますか。あとは監事の方とただけなので会員とは関係ないですね大丈夫ですかね じゃあ

[40:05 - 40:16] 清川: じゃあもう一回、理事の方に戻りましょうか。まだご発言されていなかった方いっぱいいらっしゃると思うんですが。

[40:17 - 40:45] 秋貞: 同窓会理事、バイオの秋貞です。ちょっとご報告というか、今後の展望を 1 個やらなきゃいけないことだけ、宣言というか、お伝えさせていただきます。新しい施策の一番最後にも実現しているものとして、会員情報管理システム、PalSyne というのがありまして、私が今、管理を担当しているんですが、実は運用上で少し課題が生じています。この PalSyne を置いているところ、ホームページ、実は NAIST の間借りをしている状況でして、メールのアドレスも借りている状況ですので、実は G メールに一斉配信ができないという重大な課題が生じています。

[40:57 - 41:20] 秋貞: ちょっと一度検討は始めていたのですが、おそらくは今後、同窓会としての独自のサーバーを持つというのをまず進める必要があると思っています。それができて初め

て、施策の中段にあるニュースレターの発行ですとかが、PalSyne にせっかく溜めている情報に今発信がムーズにできていない状況ですので、そこを活用して、定期的にどういう活動をするというのを発信するところから始められればなと考えています。

[41:20 - 41:39] 秋貞: 先ほど人羅さんおっしゃっていただいたような、分科会じゃないですけど、同窓会独自のサーバがあれば、そういう連絡先とかも自由に活用できるかなと思いますので、ちょっとまずはそのスタートとしては、レンタルサーバというか、独自サーバを持って、PalSyne の中の情報をもっと皆さんが活用できるようにというのを進めたいと思っています。以上です。

[41:43 - 42:30] 新井: 新井です。それに関連しまして、そのサーバとかですね ドメインを取るとか その辺りはテクニカルのところは僕が調べてやろうかなと思っています。ただ一方で、サーバをメンテナンスしていると、結構 WordPress とか こういうやつがメンテナンスが大変だなんていうのが正直あってですね。いっそのことを Google Workspace でドメインを取っちゃって Google サイトで公式ウェブサイトをやってドキュメントも Google ドライブでやってやると全部一緒にできちゃうんじゃないかなっていうのもあったりするので、また定例会の方でそういう提案をしながら議論できればなと思ってます

[42:31 - 42:51] 清川: はい、以上に重要なご意見ありがとうございます。他いかがでしょうか。自分の方を見ないでください? いかがですか? 大丈夫ですか? よろしいですか? 他にコメントなんですけど。

[42:52 - 43:23] 藤原: いや Google Drive とかで資料共有は非常にいいかなというか いろいろとお話を伺ってるの全部いいかなというところではあるんですけど、今日の理事会の資料とかもありますように個人情報とかありますのでそこは少し気をつけながら議論した方がいいのかなというところは思ったところであります。もしなんかで漏れてしまったっていうのはやっぱりいろんな大学さんでもあるじゃないですかってところがありますのでちょっとそこは追って議論をしましょうというような提案です。

[42:23 - 43:29] 清川: はい ありがとうございます。あと 1、2 分ですが ぜひどうぞはい。

[43:29 - 43:47] 吉本: 自分も理解が追いついてないところがあるんですけど会員資格についてちょっと確認したいです。今は現役の学生さんも一応同窓会の会員になってるんですね。多分、入学した時点で準会員になる。会費を支払った時点で正会員。我々が学生だった頃って確か卒業の時に案内があって、現役の学生さん知らないままで、卒業時にお金を払って、正会員になるっていう感じだったのが、今だとも入学時に同窓会の存在を案内して 現役の学生さんは会費を払った時点で正会員っていう位置づけに。

[44:25 - 44:53] 吉本: 学生の時点からお金払ってれば正会員になっていると思います。それをもとに、役員に現役の学生さんも入ってもらった方がいいんじゃないかなというのちょっとあってまして、一つは帰属意識を持つ方が増える、修了してから入会になると、なかなかどうそうかに繋がりがいいまま外出してしまうので、だから、それをちょっと検討してもいいのかな

っていうので、参考意見として。

[44:53 - 45:22] 高橋: はい。ありがとうございます。是非やりたいです。どうやって宣言するかは、よくわからないですけども。はい。ということだけ、時間がもう押しているので、slackで是非細かいところを議論させてください。定例会の開催と任意団体と slack を作ることは、委員会は承認という形でよろしいんですけども、この場で決められないので参考ですね。

[45:27 - 45:36] 清川: はい 時間になってしまったので こんな感じで議論が進めばどんどん活発に議論できていくと思います

[45:39 - 46:03] 清川: すみません、ありがとうございます。審議事項に関しては、まず予算案の承認をいただくという話と、それからこのあたり、ご提案をいただいた話もありますし、その前の国別同窓会の設立支援の関係も、総会というか会員の方にはまだ諮っていませんので、そのあたりを継続してやらせていただけるかどうかというあたりですね。

[46:03 - 46:29] 清川: あとは今日出た 理事会を定例会の話はかけなくていいと思っています口座の話もかけなくていいと思っています審議事項 オンライン審議に付ける事項として他に追加がありますか？

小林: 役員を選出ってどうなったんですか?僕らの任期切れてるって言われてましたけど

[46:30 - 46:38] 清川: 理事会の段階で資料としてはつけているのですが、今回資料はどこでしたっけ?

[46:39 - 47:09] 清川: 今回の総会の資料5ですね こちらのほうはきちんと項目としてやってなかったんですがこれは全てずるずるやってることがバレますが 遡及的に再任すると書いてますけれども 基本的にこちらのほうを審議させていただきます これは審議事項です。他ありますかね

[47:11 - 47:35] 清川: はい、まだあるかもしれませんが、ちょっと時間が押していますので、たくさん出てきたのは良いことなんですけど、時間が足りないですね。ちょっと進行悪くて申し訳なかったですが、以上で令和7年度の奈良先端大の同窓会、総会を終わらせていただきます。引き続き是非議論をさせていただきたいので、これからもよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。